寄　宿　舎　便　り

令和元年１０月 18 日発行

喜びの収穫期を迎え・・・

教頭　野本　雅明

暑かった夏も終わり、朝晩は上着が必要になるほど涼しくなってきました。
学校周りの田んぼも黄金色に変わり、あちこちで稲刈りの作業が行われております。今年は夏が暑かったこともあり、米の出来はまずまずとのこと。農家の方にとっては、喜びの収穫期を迎えております。

さて、４月からスタートした寄宿舎生活も、はや半年が過ぎ、生徒たちも日々の生活に慣れ、落ち着いて過ごす様子が見られるようになってきました。特に１年生にとっては、４月からここまでの日々の中には、不安や戸惑いも多かったのではないかと思います。ただ、多感なこの時期を同年代の仲間と濃密に過ごす経験は、必ずやこの後の生活においても大きな糧となるだろうと考えております。

実は、私も大学時代は寮生活を送っておりました。私が入っていた寮は比較的大規模な寮で、東寮、北寮、南寮、女子寮の４つの寮に分かれ、３００名程の学生が共同生活を営んでおりました。
１部屋の構成は、上級生の部屋長を頭に学生８人の構成で、基本学生の自主運営に任された、のびのびした雰囲気の寮でありました。同年代の仲間と寝食を共にし、語らい、笑い合い、時にはケンカもしたりと、本当に濃密な学生時代を過ごすことができたと感じています。また、今ではちょっと信じられない話ですが、携帯電話などもない時代でしたので、外部との連絡は寮にある １ 台の固定電話のみでした。男子寮でしたので、女の子から電話があると大変な騒ぎで、『〇〇くん、女子電です。（女子からかかってくる電話をこう呼んでおりました）』との館内放送でもかかれば、呼び出された本人以外、大勢のギャラリーが電話室に詰めかけ、その中で話をしなければならない状況でありました。笑い話ですね。

プライバシーが尊重された現代では考えられないほどプライバシーのない生活でしたが、そこで培った濃密な人との関わりは、私の人づきあいの原点ともなっています。寮生活の中で得た私の持論は、「人とのつながりは、人の中でしか育たない」です。舎生のみなさんも、日々の寄宿舎生活を過ごす中で、多くのつながり、友情を培っているのでしょう。そうしたつながり、友情を大切に、多くを学び、日々成長していってほしいと考えております。

先に収穫の話もしましたが、私たちの学校も、11 月にはある意味「収穫」ともいえる学校祭を迎えます。その準備などで慌ただしい日々を過ごしておりますが、努力や苦労をしたことは、必ずや得られる喜びも大きいものになると思います。学校生活、寄宿舎生活、ともに充実した日々を過ごし、最高の収穫を迎えられるよう、生徒たちの頑張りを支えていきたいと考えております。
今後ともよろしくお願いいたします。

女子棟行事

女子棟の記事は、行事のリーダーをやってくれた生徒、行事の案を出してくれた生徒に書いてもらいました。

外食会

７月に外食会を行いました。３年生が中心となり、話し合いをし協力しながら行事の企画をしました。みんなからアンケートを取り、「バロン」「せんなり」「石田屋」「八千代」の４軒の店に分かれて行きました。それぞれ好きなメニューを注文し、食事をしながら先生や生徒同士で会話をし楽しい時間を過ごし交流を深めました。

３年生は残り僅かの学校生活となってきましたが、色んな事に一生懸命取り組み、限られた時間の中で沢山の思い出を作っていきたいです。

３年　女子

七夕

７月 18 日に七夕祭りをしました。七夕祭りではお菓子を貰ったり、歌を歌ったりとても楽しかったです。お菓子を貰うには何か所のスポットを回らなければ貰う事ができませんでした。走って探す人、歩いて探す人、とみんな頑張ってスポットを探し回っていました。外でやったので、散歩をしているような気分になりました。大きな声で歌いお菓子を貰った後のみんなは、笑顔で楽しそうでした。寄宿舎内に戻ってからはみんなでアイスを食べて終了となりました。良い思い出になりました。

１年　女子

映画会

初めて映画会を行いました。映画会を行うために、２年生で話し合いをしましたが、意見の食い違いがあったり、話がなかなか合わなかったりとありましたが、映画会では喜んで見てくれる人がいたので良かったです。次の行事の時には、今回の反省点を生かし、みんなで協力し行っていきたいと思っています。

２年　女子











景品のお菓子の準備中。

学校の先生にも協力してもらいました。




みんなで楽しく行事に参加しました。
ー女子棟ー

ぴ り か 祭

７月３日（水）にぴりか祭を行いました。オープニングで太鼓クラブに力強い演奏を披露してもらい、お祭り感が高まった中で会がスタートしました。

今年度は例年と趣向を変えて体育館で開催し、第一部は射的や輪投げ、ヨーヨーすくいなどの縁日を開き、第二部は食事を食べつつ、ステージ発表を行いました。

縁日では実行委員が１ヶ月前から屋台やのぼり、縁日のシミュレーションを重ね入念に準備してくれたおかげもあり、どのブースも列を作り、縁日を楽しみ景品をもらって笑顔になる生徒の様子が見られました。学校の先生も生徒と一緒に縁日に参加してくれ、今までに無い規模の催しができました。

ステージ発表では４組のグループが歌やバンド演奏を披露してくれ、それぞれ一緒に口ずさんで歌ってみたり、手拍子をしたりと一体になって盛り上がりました。

趣向を変えた中でのぴりか祭は生徒にとっても新鮮だったようで、みんなが口々に「楽しい！！」と言っていたのが印象的でした。また、実行委員ではない生徒も積極的にお手伝いをしてくれ、生徒が主体となって開催できた素晴らしい行事となりました。実行委員のみなさん、お手伝いをしてくれたみなさん、参加してくれた学校の先生、お疲れさま、ありがとうございました。





事前のゲーム説明も
生徒がしてくれました。





職員と縄跳び
対決！！！



ファイト～！！！！
イッパ～ツ！！！！









景品、沢山ゲット！











ご飯、美味しかったよ









男子棟お楽しみ会

例年夏休み明けは焼肉会を行っていましたが、今年度は何をするか、生徒同士で話し合いをし内容を決めました。生徒からは様々な意見が出ましたが、「外食会（石田屋、君ちゃんラーメン）」と「カラオケ大会（東部ふれあいホール）」、「温泉入浴（あったかランド）」の４か所の中から、行きたい場所を一か所選ぶという形で意見がまとまりました。

石田屋に行った生徒は、それぞれ食べたいものを予算内で注文し、おいしそうに食べていました。君ちゃんラーメンへ行った生徒は、食べ放題のジンギスカンをおなか一杯食べてとても満足した様子でした。カラオケを歌いに行った生徒は、それぞれ歌いたい曲を歌ったり注文した弁当やオードブルを食べたりして、楽しいひと時を過ごしていました。あったかランドに入浴に行った生徒は、あったかランドの広々としたお風呂やサウナを楽しんだ後、風呂上りにジュースを飲んだりアイスを食べたりして体も心もリフレッシュしていました。

夏休み明けの男子棟行事は、生徒のみなさんそれぞれが行きたい場所へ行くことができ、とても満足した様子でした。









男子棟オセロ大会

９月１日から５日まで、男子棟でオセロ大会が開かれました。参加者を募ると舎生１７名、職員５名の計２２名が大会に参加してくれました。２２名を厳正な抽選でトーナメント表に振り分け５日間の熱いオセロバトルが始まりました。

男子棟一階の廊下に特設スペースを設け、対戦が行われ、時にギャラリーが出来るほどの名試合が行われ、時に９０分を超える熱戦が繰り広げられました。結果、第一回男子棟オセロ大会の覇者になったのは２年生の男子でした。ここで優勝者のインタビューをご覧ください。



Ｑ：オセロ大会で優勝してどうでしたか？

２年生男子：とてもうれしかったです。

Ｑ：対戦して印象に残った選手はいましたか？

２年生男子：３回戦で対戦した３年生の先輩です。

Ｑ：今後挑戦してみたいことはなんですか？

２年生男子：実習などが始まるので、卒業後の進路に向けて頑張っていきたいです。

以上、優勝者インタビューでした。第二回大会は１０月中旬スタート予定です。今度は誰が優勝するのか楽しみです。

編集後記

今年度から年３回の発行となった寄宿舎便り。１学期に行った行事を主に載せました。

子ども達と思い出話しで盛り上がってくれるといいなと思っています。